



# 栃木市国際交流協会だより

2014年3月31日発行

第4号

Tochigi city International Center

## 第17回国際交流のつどいを開催▶▶▶▶▶



3月16日（日）栃木市市民会館にて、毎年恒例の栃木地域「国際交流のつどい」を開催しました。今回初めて屋外にステージをつくり、料理を食べながらアトラクションを鑑賞できるようにしました。当日は好天に恵まれて参加者は500名を超え、日本人も在住外国人の皆さんもお互いに交流を深め、楽しい時間を過ごしました。料理のブースでは、日本の豚汁や焼きそばのほか、中国、韓国、ネパール、フィリピン、トルコ、エジプト、ペルー、ブラジル等の出店があり、またアトラクションでは、鍵盤打楽器の演奏、二胡と琴の演奏、フォークダンス、ベリーダンス、よさこい、バンブーダンス、タイ舞踊、西アフリカのギニアの伝統音楽の演奏、ブラジルのカポエイラやサンバ、南米の民族音楽の演奏等、本当に盛りだくさんの内容でした。その他、栃木市教育委員会のALTの皆さんと触れ合えるコーナーでは、フェイスペインティングやゲーム、そしてイギリスを紹介するビデオの上映がありました。日本文化の体験コーナーでは、着物の着付けやもちつき体験、日本語教室のデモンストレーションや栃木市文化課による栃木市ゆかりの歌麿の浮世絵を紹介する展示がありました。

今回のつどいに企画を出して参加してくださいました皆様、そして会の運営にご協力いただきましたボランティアの皆様々に心から感謝申し上げます。

# 第9回日本語スピーチコンテスト開催▶▶

2月16日（日）ホテルサンルート栃木にて、在住外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました。今年度も国際ソロプチミスト栃木との共催により行いました。

コンテストの前日は大雪に見舞われ、当日も交通機関の乱れ等があり、会場に来られなくて急きょ参加を取りやめることになった出場者もいましたが、大学生、専門学校生、そして社会人など中国、韓国、台湾、ネパール、ベトナム、スリランカ、ミャンマー等16名の出場がありました。



▲中里ホンヤンさん



▲ウダーニさん



▲出場者、審査員等全員で記念撮影



▲交流会で抹茶のお点前体験

## ＜上位入賞者＞

（敬称略）

### ◆最優秀賞

中里 ホンヤン（中国）社会人  
「着物、チャイナドレス、そして女性」

### ◆国際ソロプチミスト賞

ウダーニ スガンディガー バーラスーリア  
（スリランカ）大学生  
「夢を持たないと運は向いて来ない」

### ◆優秀賞

劉小玢リュウ ショウビン（中国）専門学校生  
「マジで？日本語」

### ◆特別賞

ラマ ヴィシュヌ サガル（ネパール）専門学校生  
「母のことば」

### ◆努力賞

チュオン アイン ヴー（ベトナム）日本語学校生  
「日越の違い」

今年の大会は、出場者の誰が入賞してもおかしくないくらい、大変レベルの高い争いとなりました。それぞれの流暢な日本語のスピーチが終わる度に、大きな拍手が起きていました。

コンテスト終了後、出場者や応援の方々などが参加して交流会を行いました。交流会では、国際ソロプチミスト栃木の会員の皆さんによるお茶のお点前の披露があり、出場者を囲んだ和やかな雰囲気の中で集まった人たちが交流を深めていました。

# 世界の料理交流会開催



今年度の世界の料理交流会は、下記のとおり各地域で開講しました。

## 栃木地域委員会「フィリピン料理」

チキンティノーラは予想以上に日本人の口に合いました。「おいしい！」という声があちこちで聞かれました。

メニュー：チキンティノーラ、ルンピア（春巻き）、  
ギナタアン（デザート）

講師：リタ カリーニョさん  
ネディ コドッグさん

日にち：1月20日（月）

場所：大宮公民館

参加者：22名



## 大平藤岡地域委員会「ベラルーシ料理」

ベラルーシ人はじゃがいもを多く食べるそうです。  
ドラニキは家庭料理の決定版！

メニュー：ドラニキ（ジャガイモのパンケーキ）、  
ボルシチ

講師：柏崎イリナさん

日にち：2月22日（土）

場所：ゆうゆうプラザ

参加者：29名



## 都賀西方地域委員会「ドイツ料理」

シュニッツェルはとても人気のあるドイツ料理だそうです。  
少なめの油でフライパンで焼くので日本のカツレットとは少し違います。

メニュー：シュニッツェル（豚カツ）&ゆでジャガイモ  
やサラダ、フィラデルフィアクリームのデ  
ザート

講師：サブリーナ リンさん

日にち：3月16日（日）

場所：吹上公民館

参加者：21名



# 大平藤岡地域委員会後期活動報告▶▶▶▶

10月13日(日)開催  
大平地区体育祭参加

2月22日(土)開催  
世界の料理交流会



▲体育祭玉入れ競技

大平藤岡地域委員会 副委員長 井木澤 稔

恒例の体育祭参加は、昨年10月13日(日)、昼食時に昨年同様の「玉入れ競技」として行われました。当日は秋晴れで絶好のスポーツ日和となった会場で参加者を2グループに分け、市民の声援を受けながら入った玉の数を競い合いました。中国、タイ、マレーシア、インドネシア等から会員を含め多くの参加者があり、競技後は地域委員会準備の昼食で交流を深めました。

また、本年2月22日(土)の世界の料理交流会は、旧ソ連邦であったベラルーシから栃木市内に嫁がれた方に講師になっていただき、ボルシチとドラニキ(ジャガイモのパンケーキ)づくりに挑戦しました。慣れない調理に予定より少々時間オーバーとなりましたが、講師であるイリナさんの母国の話に耳を傾けながら楽しい昼食となりました。昨年までは協会の会員を中心に、無料で外国人の方にも多く参加していただき、交流を主とする料理交流会でしたが、本年より他の地域委員会同様の有料化や、外国料理を通しての異文化理解の場となる初めての交流会でした。

まだまだ多くの事業展開とはいきませんが、今後とも協会事務局、そして両地域市民の皆さんと協働での国際交流活動がより必要だと感じています。

# 英語通訳ボランティア研修会開催▶▶▶▶

1月11日(土)栃木市市民会館にて、英語通訳案内士の大島秀郎さんを講師に、英語通訳ボランティア研修会を開催しました。今回の研修の目的は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、将来、栃木市の外国人観光客誘致に協力できる団体として組織化することにあります。

まずは、講師が東武日光駅で行っている観光案内のボランティア活動の様子などの話を聞き、栃木市においても同様な活動ができないか、今後も定期的に研修を行っていくこと等を決めました。

平成26年度は、栃木市観光協会とも協力して、英語の観光ボランティアの養成事業を進めていく予定です。

関心のある方は、ぜひご協力をお願いします！



# 都賀西方地域委員会後期活動報告▶▶▶▶

12月15日(日)開催

つがにしかた地域  
第2回国際交流のつどい



▲外国料理のコーナー



▲盛り上がったギニアの太鼓

都賀西方地域委員会 副委員長 手塚 芳江

栃木市合併後、第2回を迎え、つが・にしかた地域「国際交流のつどい」を12月15日(日)に行ないました。

芸能文化交流では西アフリカギニア共和国の伝統音楽や中国の二胡と琴のコラボ演奏、フラダンス、よさこいそしてコーラスなどなど、ギニアの音楽では参加者達も思い思いに音楽に合わせて踊りを見よう見まねで楽しんでいました。

又、今回の食文化では都賀町在住のロシア人による(ボルシチ)西方町に在住の韓国人による(チャプチェ・イカポッカ)栃木市在住のフィリピン人による(メヌード)そして、日本食はソバガキ・焼ソバ・餅など、各国の料理に舌鼓を打ち、最後にお楽しみ抽選会を行い、参加者全員で「ふるさと」を合唱し、回を重ねる度に大いに盛り上がり180名の参加者に最後までおつき合いをして頂き有意義な1日を過ごすことができました。

これも偏にスタッフの皆様、そして参加頂きました皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

# 日本語指導ボランティア研修会開催▶▶▶▶

3月15日(土)栃木市市民会館にて、現行の日本語教室の充実を図るため、日本語指導ボランティアの皆さんを対象とした研修会を行いました。

講師には昨年に引き続き角田亮子さんをお招きし、「漢字の教え方」について習いました。特にタイ語を使った講義では、漢字圏以外の外国人が初めて漢字を見たときと同じ感覚を味わうことができ、学習者の立場を再認識する有意義な内容となりました。また、ボランティアの皆さんが外国人に漢字を教えるときに役立つテキストを協会の図書に揃え、外国人学習者には、筆ペンと罫線付きの漢字練習帳を配布できるよう日本語教室の備品を整えました。



※なお、この研修会は公益財団法人あしぎん国際交流財団の助成対象事業として実施いたしました。





仲松ミゲルさん  
(ペルー 出身)

4月から、主に大平地域の外国籍の子どもたちに日本語を指導する仕事をされます。  
ご自分の経験をいかしていただければ、必ずいい先生になれると思います。  
これからの活躍を期待しています!!!

皆さん、初めまして。仲松ミゲルと申します。13歳のときにペルーから来た日系3世です。

私は、中学校から日本語の教育を受けています。当時は日本語が全くわからなくて大変な思いをしましたが、いろいろな先生のお世話になりながら日本語をある程度まで学ぶことにより、楽しい学校生活を送ることができました。

中学校卒業後、高校に進学し、勉強がより大変になりました。サッカー部に入ったものの、一学期は赤点だらけでしたので、学期の終わりごろに部活をやめる決断をしました。その結果として、成績はかなり良くなりました。その後、絶対に大学へ行く決めて、入試まで一生懸命勉強しました。毎日勉強した成果が実り、ついに大学に合格することができたのです。

そして、今年は大学生活の最後の一年を過ごすと同時に、自分の体験をいかして、栃木市内の学校で外国籍の子どもたちの日本語教育に携わっていくことになりました。この貴重なチャンスを与えられて、大変感謝しています。これからも目標を設定して達成できるように、努力していきたいと思っています。

## 国際理解教室へ外国人講師派遣

平成25年度後期は、下記のとおり学校等へ外国人講師派遣の紹介をしました。

日にち	派遣先	派遣講師の出身国
10/4 (金)	栃木県立栃木高等学校	ドイツ
11/2 (土)	大宮南小学校	ネパール
1/31 (金)	栃木西中学校	アメリカ 中国 ブラジル ヨルダン ドイツ
3/6 (木)	大宮南小学校	中国
3/11 (火)	〃	ブラジル エジプト
3/13 (木)	〃	アメリカ



▲エジプトの紹介

